



平成 21 年度

本格的な会館活用を行うため、ソフト面の充実を図る目的で従来にもまして老人介護施設職員の資質向上を図る研修内容の充実と地域福祉に寄与するため、8回159施設237名の参加を得て実施した。

ハード面の助成事業として、内容の充実を図るため、世界的なインフルエンザの流行により介護施設での感染予防対策としてイオン発生機プラズマクラスターと、更に介護職員の労働軽減を図る目的で離床センサーを助成事業の寄贈対象品目に加え軽自動車や各種車椅子等の備品の寄贈を行い、吉田逸郎理事長から目録並びに備品の贈呈を行った。

記念講演では、全国料理コンクールでの受賞200回を超える高校生シェフを育て全国初の高校レストラン「まごの店」を誕生させた相可高等学校食物調理科村林信吾教諭の「高校生が地域を元気にさせる!」と題した講演を開催した。

会館PRのため案内パンフレットを作成した。

介護保険制度が平成12年4月に施行されて今年度要介護認定の新基準が導入されたが「サービスが受けられない人や要介護度が軽くなる人の割合が若干増えた」ため調査項目の見直しが行われた。

国内外を見ますと、皆既日食が明治20年日本で最初に観測され昭和18年・38年そして今年度46年ぶりに鹿児島トカラ列島や奄美大島で今世紀最大の観測であったが悪天候で黒い太陽を見ることはできなかったが硫黄島では観測できた、次回は26年後の西暦2035年北陸や北関東で観測される、

又エルニーニョ現象の影響か山口県から九州に掛けて土砂災害被害が発生し特別養護老人ホーム入居者に多数の死傷者が発生した。

衆議院が解散し8月30日総選挙が実施され民意を問う選挙となり民主党が308議席を取る圧勝におわり55年続いた自民党政権は終わり新しく民主党・社民党・日本新党の連立政権が発足しねじれ国会が解消され、第63台内閣総理大臣に鳩山由紀夫が任命された。

平成16年5月21日成立した裁判員制度(20歳以上の一般国民が裁判員として刑事裁判に参加する制度)が8月3日に初めて裁判員裁判が東京地裁で開かれ、津地方裁判所では9月15日に開かれた。

今年度は伊勢湾台風被害や紀勢本線全線開通から50年という節目の年と成りました。

南米チリで2月27日に発生したマグニチュード(M)8.8の巨大地震で津波警報が発令され、三重県でも伊勢市・鳥羽市・尾鷲市など6市町で7万4百人余りに非難指示が発令された、さらに尾鷲市など8市町の11万1千2百人に非難勧告がだされた。

2009

平成21年度助成事業目録贈呈式



吉田逸郎理事長挨拶



記念講演



寄贈品並びに目録贈呈



贈呈式

老人福祉施設等整備事業(助成・寄贈)

4,544,922円

平成21年度
寄贈品
一覧

軽自動車／4台



イオン発生機プラズマクラスター／4台



自走式・介助用車椅子／34台



フルクレンジング車椅子／11台



マイチルト車椅子／2台



エアーマット／4台



離床センサー／3台

多気町
社会福祉協議会

老人福祉環境整備事業

1,590,542円

天啓の里・ささゆり苑のデイサービス利用者等の新型インフルエンザ感染対策

◆ **イオン発生機プラズマクラスター 2施設 4台**

天啓の里・ささゆり苑の活動車輛の不足と現在有る車輛が平成10年登録分で老朽化による更新

◆ **軽自動車 2施設 2台**

デイサービス活動での不足と保有車椅子が老朽化

◆ **自走式介助用車椅子 1施設 1台**

近 隣
・ 松阪市
・ 伊勢市
・ 多気郡
・ 度会郡
各老人福祉施設

老人福祉環境整備事業

1,333,800円

利用者の増加で活動車輛の不足

◆ **軽自動車 1施設 1台**

（社）育心会（特養 多気天啓苑）

貸出用車椅子の不足・所有備品の老朽化・介護度の高い利用者が増加し不足と更新・移送、デーサービスの利用ニーズへの対応

◆ **自走式介助用車椅子 2施設 10台**

（社）大紀町社会福祉協議会（貸出 本所）

（社）伊勢医心会（特養 神路園）

◆ **フルリクライニング車椅子 6施設 6台**

（社）度会町社会福祉協議会（デイ 本所）

（社）慈恵会（特養 正邦苑）

玉城町（老保 ケアハイツ玉城）

（社）さくら福社会（デイ さくら園）

（社）伊勢市社会福祉協議会（デイ 二見支所）

宮川福祉施設組合（特養 やまびこ荘）

◆ **マイチルト車椅子 1施設 1台**

（社）南伊勢町社会福祉協議会（デイ 本所）

夜間介護の少数職員での対応に必要な不可欠な設備

◆ **離床センサー 2施設 2台**

（社）司会（老保 弘樹苑）

（社）太陽の里（グループ なごやか）

左記以外の
県下各市町の
老人福祉施設

老人福祉環境整備事業

1,620,580円

介護支援事業の充実

◆ 軽自動車 1施設 1台

(社) 東員町社会福祉協議会(居宅 ふれあい)

車椅子利用者の増加による不足と老朽化による更新、利用者の高齢・重度化に伴う利用者増と老朽化による更新・重度化に伴う機能の高い車椅子の提供

◆ 自走式介助用車椅子 5施設 23台

(社) 敬愛会(特養 慈宗院) 3台

(社) 徳寿会(特養 みのりの里) 5台

(社) 宏育会(デイ よっかいち諸朋苑) 5台

(社) 安全福祉会(特養 安全の里) 5台

(社) 翠明院(養護 翠明院) 5台

◆ フルリクライニング車椅子 5施設 5台

(医) 井上内科病院(老保 萩の原)

(社) グリーンセンター福祉会(特養 鶴寿園)

(社) いがほくぶ(特養 彩四季)

(社) 青山福祉会(特養 森の里)

(社) こしば福祉会(老保 トマト)

◆ マイチルト車椅子 1施設 1台

(社) 風薫会(特養 アリビオ)

利用者の重度化で、寝たきりが増加しているため褥創予防

◆ エアーマット 4施設 4台

(社) いろどり福祉会(ケアハウス 花紬)

(社) 永甲会(特養 うねめの里)

(社) 慈童会(特養 くすのき園)

(社) エイジハウス(特養 エイジハウス)

利用者の寝たきりや認知症が増加し、安全確保の不可欠

◆ 離床センサー 1施設 1台

(社) 青松園(特養 青松園)

老人福祉施設団体従事者研修事業

938,086円

第1回介護施設職員接遇研修会（3年未満）（11）

（参加 27施設43名）6月18日

法人（青山福祉会・司会・長茂会・伊勢市社協・育心会・福寿会・あおば会・こしば福祉会・ケアハイツ玉城・三重高齢者福祉会・度会町社協・白寿会・名張厚生協会・孤野町社協・三重豊生会・青松園・井上内科病院・菊寿会・いがほくぶ・北斗会・愛恵会・明和町社協・三重県済生会・杏南会・むつみ福祉会・紀南特養ホーム組合・素問会）

介護職勤務1年から3年未満の職員を対象とした接遇研修も3回目を迎え参加者も増え介護職の仕事をして行く上で利用者への対応の仕方の難しさを勉強していただきました。



講演 “心からのサービス” 介護従事者の接遇マナー

講師 エム・アール・シー 足坂三長・井ノ口美津子

1. オリエンテーション
2. 学生から社会人へ
3. 第一印象の大切さ
4. 挨拶と声の出し方
5. マナーの基本Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ
6. 職場での言葉づかい
7. 話し方の工夫
8. 美しい声
9. 応接の基本動作
10. 訪問対応の基本、実習
11. 電話対応の基本、用語、実習
12. 職場のエチケット

受講生の感想

挨拶の大切さ、利用者さんに対する態度の難しさ、笑顔の大切さ、実技指導等実践を取り入れた研修内容のため飽きずに楽しく受けられ充実した研修であったとの感想が聞かれました。

第2回介護施設職員接遇研修会（4年以上）（12）

（参加 26施設41名）7月16日

法人（伊勢市社協・三重郡老人福祉組合・青松園・素問会・長茂会・福寿会・大紀町社協・鈴鹿福祉会・三重県済生会・あおば会・菰野町社協・菊寿会・杏南会・愛恵会・鳥羽市社協・いがほくぶ・名張市社協・ケアハイツ玉城・北斗会・宮川福祉施設組合・素問会・三重高齢者福祉会・白寿会・度会町社協・明和町社協・青山福祉会）

介護職勤務4年以上の職員を対象とした接遇研修も回を重ねる毎に参加者も増え介護職として接遇の必要性の認識を高めた。



講演 “心からのサービス” 介護従事者の接遇マナー

講師 エム・アール・シー 足坂三長・井ノ口美津子

1. オリエンテーション
2. 職場での声かけ
3. 話し方の工夫
4. 介護の上手な声かけ
5. 話し方、聞き方
6. コミュニケーション
7. 人間関係を悪くする言葉
8. 応接の基本動作
9. 上席の知識
10. お辞儀と発声
11. 表情の大切さ
12. 感じのよい態度
13. 身嗜みのポイント
14. 言葉づかい
15. 来客と訪問対応
16. 来客対応の用語
17. 電話対応の基本
18. 電話対応の用語

19. 電話対応（こんな時）

受講生の感想

自己反省的な感想が多く聞かれ、職場での伝達、実践、研修の必要性が聞かれました。

第3回 介護職場の課題解決研修会（4）

（参加 12施設 16名）8月20日

法人（紀和会・ウエルケア・青山福祉会・明和町社協・風薫会・ケアハイツ玉城・こもはら福祉会・杏南会・吉創会・度会町社協・三重豊生会・菊寿会）

この、研修は介護・福祉施設の利用者やその家族の期待するサービスを常に意識されながら行動することが基本となる利用者本位のサービスの実施が求められる職場です。

また、乳幼児から老人、障害者と対象も広く、入所・通所・訪問・居宅介護支援などと形態も様々で従事する職員個人の知識やスキルなどの幅の広さが求められます。

しかし、これらの組織は施設の目的に適した編成になっていることが多く、職員一人ひとりが持つノウハウ・知識・経験を活かすために施設を越えた交流が重要になってきます。

そのため、関係者の対話とコミュニケーションによる経験の共有が仕事の質の向上に大きな影響を与えることから日頃の経験が気楽に交換できる場の設定も重要と言えます。

また、「福祉の受け手はお客様」「選ばれる福祉サービス」の時代です。素のために“質の高いサービス”を生みだす努力が必要です、利用者がお客様となれば、今まで遠慮して口にしなかった苦情の解決も求められてきます、お客様の希望に適切に応えられるために福祉の分野にも企業努力が求められるのです。

福祉改革により、これからの福祉事業の経営は「顧客本位」と「全員参加」と「継続的な改善」を進める活動が不可欠となってきます。

たとえば、職場にはいろいろな問題が発生するものです、その問題を放っておくと段々と大きくなり取り返しのつかない状況に追い込まれてしまいます。

1：29：300の法則（ハインリヒの法則）、これは一つの問題の奥には29もの中問題があり、29の中問題の奥には300もの小問題があると言われていきます、それらの問題を日常常務の中で解決していくことが“利用者へのサービス”につながっていきます。

民間企業では、1948年からQC手法を導入し、そのQCサークル活動を通して企業が発展してきました、既に、福祉の職場でもQCサークル活動に取り組んでいる所もあります。

問題の解決には有効的で且つ効率的な『手段や方法』が必要です。問題の解決を体系的に捉えて解決を図っていく手段である『QC手法』を勉強します。



講演 課題解決研修会 “職場の改善は、自分達で”

講師 エム・アール・シー 足坂三長・井ノ口美津子

1. オリエンテーション
2. 職場のサービス品質の向上
お客様の満足とは、問題とは、問題の捉え方、問題解決の三要素。
3. 課題解決の進め方
改善ステップの例、問題解決の手順、プレnstーミング。
4. 職場の問題点の発見
問題の洗い出し着目点、職場の問題点の抽出（グループ討議）、改善テーマの選出。
5. QC手法の実践（書き方・作り方）
改善テーマの決定、バレット図、特性要因図（要因の分析）、グループ討議、対策の立て方（6W3H）、グループ討議。
6. 課題解決の発表
テーマ選択から対策まで。各グループ毎に実施。
7. QC活動の意義＜推移＞

受講生の感想

施設間の意見交換やグループ討議を取り入れた研修で参考になった。

第4回 介護職員研修会（話し方研修と意見交換）（1）

（参加17施設 22名）9月17日

法人（紀和会・ウエルケア・明和町社協・風薫会・ケアハイツ玉城・こもはら福祉会・杏南会・吉創会・青山福祉会・度会町社協・名張厚生協会・三重豊生会・菊寿会・伊勢市社協）

この、研修は施設職員の希望により今年度から新しく取り入れた「話し方研修と意見交換」の研修であります。

介護・福祉施設の利用者やその家族の期待するサービスを常に意識されながら行動することが基本となる利用者本位のサービスの実施が求められる職場です。

また、乳幼児から老人、障害者と対象も広く、入所・通所・訪問・居宅介護支援などと形態も様々で従事する職員個人の知識やスキルなどの幅の広さが求められます。

しかし、これらの組織は施設の目的に適した編成になっていることが多く職員一人ひとりが持つノウハウ・知識・経験を活かすために、施設を越えた交流が重要になってきます。

そのため、関係者の対話とコミュニケーションによる経験の共有が仕事の質の向上に大きな影響を与えることから日頃の経験が気楽に交換できる場の設定も重要と言えます。

また、「福祉の受け手はお客様」「選ばれる福祉サービス」の時代です。素のために“質の高いサービス”を生み出す努力が必要です、利用者がお客様となれば、今まで遠慮して口にしなかった苦情の解決も求められてきます、お客様の希望に適切に応えられるために、福祉の分野にも企業努力が求められるのです。

福祉改革により、これからの福祉事業の経営には「顧客本位」と「全員参加」と「継続的な改善」を進める活動が不可欠となってきます。

たとえば、職場にはいろいろな問題が発生するものです、その問題を放っておくと段々と大きくなり、取り返しのつかない状況に追い込まれてしまいます。

1：29：300の法則（ハインリヒの法則）、これは一つの問題の奥には29もの中問題があり、29の中問題の奥には300もの小問題があると言われていきます、それらの問題を日常業務の中で解決していくことが“利用者へのサービス”につながっていきます。

現場で働く皆さんの“聞きたいこと”“解決したいこと”を他の福祉施設の方々と交流を深めながら、体系的に解決を図っていく研修です。



講演 話し方研修と意見交換

講師 エム・アール・シー 足坂三長・井ノ口美津子

1. オリエンテーション
2. 意見交換会の実施
活力ある職場づくり、ブレインストーミング、現状における施設の問題点（テーマ選定）、現状の分析（フィッシュボーンに記入）、具体的な解決策の検討（一覧表にまとめる）
3. 意見交換の発表
グループ毎に発表、質問と追加意見
4. 利用者との会話
話す・聞くの心得、表情の大切さ、言葉づかい、話し方の工夫（発声）
5. 利用者との応対実習
美しい発声、音の長短・強弱・速さ、好感を与える話し方、介護の上手な声かけ
6. 自己啓発

受講生の感想

意見交換で色々な考え、意見が聞けて良かった。

第5回 福祉レクリエーション研修会（2）

（参加 16施設 21名）10月15日

法人（いろどり福祉会・あおば会・伊勢市社協・玉城町社協・三重豊生会・むつみ福祉会・度会町社協・尾鷲市社協・ケアハイツ玉城・青山福祉会・多気町社協・名張厚生協会・風薫会・大紀町社協・ウエルケア・素問会）

「楽しさいっぱい・笑顔いっぱいのレクリエーション支援を」レクリエーションは歌って踊ってゲームをするのではない。しかし、歌って踊ってゲームをするのは無駄ではなく利用者さんの生活の場に繋がって行くと考えられる。

レクリエーションは利用者さんの心を開くことで楽しい人を支援することで利用者さんが楽しんでいると思われる時を探していくことです。

福祉レクリエーションは楽しむ事が大事で出来るという喜びを与えることも大切なことで、福祉現場ではその人の持っている残存機能に満足するのではなく少しずつ階段を登るようにしていき出来ないからと切り捨てるのではなく引き出してやるのが大切である、また競争させるのではなく共感と考える。

利用者の方が、毎日楽しく笑って生活できれば、健康で生きがいを持って生活できれば・・・レクリエーション財を通してアプローチ法を学ぶ。



講演 福祉レクリエーション

講師 三重県レクリエーション協会 加納安子

1. 笑顔が生まれるレクリエーション（各種目別のレク指導）
実技指導
2. 福祉レクリエーションとは
語源、意義、目的
3. 福祉とは
捉え方、支援法

受講生の感想

レク項目も多く実技指導もあり楽しいレク研修でした。

第6回 施設入浴介護研修会（4）

（参加 18施設 29名）11月12日

法人（ウエルケア・伊勢市社協・ケアハイツ玉城・紀宝町社協・尾鷲市社協・大紀町社協・紀和町社協・太陽の里・御浜町社協・度会町社協・明光会・多気町社協・斎宮会・青山福祉会・大台町社協・菟野町社協）

利用者にとって、入浴は私生活に戻る分疑点であり身体を清潔に保つために行い、心身のリラックスや疲労回復も、清潔に伴うさっぱり感を指し運動回復の場でありコミュニケーションが取れる場でもある。



講演 施設入浴介護研修

講師 デベロ老人福祉研究所 東海林広幸

1. 入浴を理解する
入浴嗜好からニーズを検証
2. 安全入浴の基礎知識
入浴の三大作用の理解、入浴にもたらす効果と留意点、施設における洗身、介護予防と入浴、事故事例
3. 入浴介護の活用法
症状に対する配慮、認知症を中心として老人性乾皮症
4. 感染症の予防及びまん延の防止
感染と感染症、日ごろの対処、感染症にはどのように対処するか
5. 質疑・応答

第7回 認知症介護研修会（1）

（参加 29施設 45名）12月17日

法人（永甲会・宮川福祉施設組合・長茂会・ウエルケア・エイジハウス・玉城町社協・青松園・伊勢市社協・伊勢医心会・福慈会・多気町社協・大紀町社協・斎宮会・愛恵会・度会町社協・むつみ福祉会・名張厚生協会・こしば福祉会・尾鷲市社協・弘仁会・敬愛会・あおば会・北斗会・三重豊生会・松阪市社協・安全福祉会・御浜町社協・吉創会・天年会）

施設において認知症の利用者が増える中、介護職員の介護対応が切実な問題として起こっております。

認知症のケアの理念は、見失われがちな「その人の尊厳」「個性」「求めていること（願い・希望）」を見出して、本人がその人らしい生（生命・生活・人生）をまっとうできるようにささえていく。

認知症の人への接し方は、周囲の人がその人の持つ、その人らしさを尊重し尊厳の念をもって関わること、相手の世界を大切にし自分のことをわかってもらえたと感じ、安心感を抱かせる。

この研修会開催の希望が多く今年度から実施した。



講演 認知症介護研修

講師 サポートさくら 大西道子、野口美枝

1. 認知症とは
2. 認知症の人が体験していること
3. その人らしさ（アイデンティティ）とは・認知症の人の（その人らしさ）
4. 認知症ケアの基本原則
5. 認知症の人との接し方
6. 演習（グループワークを含む）
7. 質疑・応答

第8回 リーダー研修会（4）

（参加 14施設 20名）1月21日

法人（エイジハウス・杏南会・伊勢市社協・三重豊生会・むつみ福祉会・風薫会・菊寿会・ウエルケア・明光会・青山福祉会・いろどり福祉会・こしば福祉会・井上内科病院・永甲会）

施設では人材がとても大切です、また職場においても人材は業績を大きく影響を与えます、職員の中でもリーダーになる職員の影響も大きくなります。

今、注目されております職員研修で集団を統率し人を動かしリーダーシップを発揮していく職員の養成、職場の中でも部下に対して「期待」「関心」を持ち成長に必要なポイントにきずかせ自己啓発をさせ成長を促し部下の指導をしていく上で特に必要になるコーチング技術の習得を目的とした研修であります。



講演 リーダー研修 “CSの心を高めよう!”

講師 エム・アール・シー 足坂三長・井ノ口美津子

1. オリエンテーション
2. チームワーク
3. コーチングの基礎
4. コーチングの実践
5. コーチングの実習、話法
6. 話し方の工夫
7. 実習・発表
8. リーダーシップ

老人福祉団体運営活動事業

36,172円

第12回吉田福祉基金杯GB大会

後援（財）吉田福祉基金 5月10日

暑い日ざしがゲートボール場にそそぐなか、のびのびパーク天啓公園GB場に県下54チームから350名の役員、選手が参加し選手たちは、優勝に向かい一つでも多くのゲートを通過させようと、真剣にプレーをしチーム間の融和を図りながら和気あいあいで開催する。

優 勝 伊 勢 上 野（伊勢市）チーム
準優勝 伊賀あじさい（伊賀市）チーム
3 位 磯 部（志摩市）チーム



開会式



大会競技



優勝 伊勢上野（伊勢市）チーム